

科目名	看護と倫理 I (社会倫理・医療の倫理)				DP1 DP6		看護高等課程
学年	1 年	分野	専門分野 基礎看護	時間数	15 時間	担当教員	市川 豊子
科目概要	社会に多くの人が存在する限り、価値観や立場の違いから起こる対立や意見の不一致は避けられない。看護職者は、医療技術の進歩と、価値の多様化、権利意識の高揚など、人々の意識の変化を受け入れながらも医療上の倫理的判断が求められるようになってきている。この科目を通して、道徳心や善悪、人としてのあり方など考え、生命の尊厳や人権等について考える手がかりになる内容とした。						
到達目標	1. 道徳心や善悪、人としてのあり方など、人間としての規範や原理について考え、生命の尊厳・人権、看護に求められる倫理について探求することができる。						
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員
1～7	倫理学の基本的な考え方		倫理とは			講義 演習	市川
	人としての倫理		社会人としての倫理、道徳とは、倫理的価値とは				
	医療における倫理		医学実験に対する社会的批判、医の倫理原則				
	現代医療と医の倫理		医療技術の進歩、倫理綱領、医の倫理原則の基本				
	生命倫理 (バイオエシックス)		生命倫理の課題				
	倫理新聞		ポスター発表・意見交換				
8	(1 時間)		まとめ				
評価基準	100 点満点とし、6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。						
評価方法	出席状況と演習への参加態度、パフォーマンス課題やルーブリック評価に基づき内容等を吟味して総合的に評価を行う。						
教科書	看護学入門 5 基礎看護 I 看護概論 看護学入門 4 保健医療福祉のしくみ 看護と法律 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							